



内科・消化器内科

総合内科専門医・消化器病専門医
消化器内視鏡専門医・ピロリ菌感染症認定医

開院25年になりました

1998(平成10)年9月1日、当院は開院しました(書類上は8月1日が開設日ですが)。この9月1日で丸25年となり、26年目に入りました。私は、1984(昭和59)年に大学を卒業し、八尾徳洲会病院(現在は総合病院)の研修医となりました。当時は、7割が母校に残り、2割が地元の大学に帰り、大学と無関係の病院で研修をするのはわずか1割でした。

1年目に内科、外科・麻酔科、小児科、産婦人科の研修を受け、2年目に、循環器内科と消化器内科の研修を受けました。現在は「臨床研修制度」で複数の診療科の研修が義務化されていますが、当時としては画期的な研修でした。それ以後、消化器内科を専攻し合計14年間、徳洲会病院でお世話になりました。大学病院からの派遣の先生が「この病院はなんでこんなに珍しい病気の患者さんが来るんだ?」と言うくらい、いろいろと経験させてもらいました。

新しい物好きですので、「^{ごくほそ}極細」の胃カメラが発売された時は、八尾の診療所では一番に導入しました。もちろん「経鼻内視鏡」も一番に始めました。診察を予約制にしたのも八尾では一番でしたし、クレジットカードを使えるようにしたのも八尾で一番だったと思います。院内で至急の血液検査を始めたのもかなり早かったです。

大腸の内視鏡検査の前には1.8^{リットル}Lの洗腸液を飲んで腸をきれいにします。私たちは病院時代、洗腸液が製品化される前に、アメリカから導入した先生の文献を頼りに洗腸液を調製して使い始めました。日本中でもかなり早い時期でした。(最初は、現在の2倍以上の4Lが必要でした)

病院では、毎日のように内視鏡検査をしていましたが、開業してからはそういきません。糖尿病、高血圧症、脂質異常症などいわゆる生活習慣病の患者さんが多く、内視鏡に触らない日もあります。水曜日を検査日としていますが、他の曜日にも内視鏡検査はしています。検査の日は気分的に楽しい日ではあります。

開業した時、私は39歳でしたが、あっという間に64歳になってしまいました。先日、年金の書類が来て愕然としました。頭の中では、まだ40代のつもりなのですが、体がついてきません。朝起きた時、目が開き、声が出て、手足が動くのを確認して、一安心です。腰痛もあります。

かかりつけの患者さんも後期高齢者になった方がかなり増えました。最高齢の方は96歳です。私自身、あと何年くらい頑張れるのでしょうか。現在、日本人男性の平均寿命は81.41歳、健康寿命は72.68歳です。女性は87.45歳と75.38歳です。健康寿命まであと10年もないとすると、そろそろ今後のことを考えるべき時期になっています。

臨時休診の予定

11/4(土) 11/17(金) 夕診 11/18(土) (学会参加のため)

最新の情報は、ホームページ・きくメールで、ご確認ください。

ホームページ：<http://www.kikuchi-clinic.com/>

メールマガジン「きくメール」の登録はこちらです

<https://www.mag2.com/m/0000239603/> (右のQRコードで登録できます)



今月号の原稿締め切りは、8/27でした。それ以降の情報は反映されていないので、最新の情報は、当院メールマガジン「きくメール」あるいはホームページでご確認ください。

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)は「たいしたことない」あるいは「終わった」と思っておられる方は多いと思います。そういう意味で、国の政策は大成功しています。**感染しても「自己責任」**ですし、**困ったことがあっても「自助」「共助」**まで、「公助」はせずに済むからです。減らした予算は、軍事費倍増に回すことができます。

感染症法上「5類」になったため、感染者数の報告は全数ではありませんので、以前ほど危機感がないと思いますが、65歳以上の感染者は「第8波」を超えました。

また、医療費が公費(無料)から通常健康保険扱いとなったため、症状があっても医療機関を受診しない方が増えています。自分で検査キットで検査する方は増えています。不適切な検査(後述)のため、見逃しがかなり増えています。

現在は、インフルエンザが流行していないので、まだマシですが、この冬はどうなるでしょうか。今から心配です。

新型コロナワクチン「令和5年秋開始接種」

接種期間は9月20日から(当院では**9月25日から**)来年3月末です。接種料金は無料です。

対象は、生後6か月以上のすべての方です(当院では**12歳以上**の接種を行います)。

初回接種(1回目、2回目:3週間隔)もできます。

追加接種(3回目以降)は、この期間内に1回だけで、前回接種から3か月以上あける必要があります。

使用するワクチンは「**オミクロンXBB1.5株**対応1価ワクチン」です。(当院ではファイザーです)。

接種券発送予定	前回接種日
9/11	5/8~6/30
9/22	7/1~7/31
10月下旬	8/1~8/31
11月下旬	9/1~9/19

八尾市の接種券の発送予定は、右表の通りです。

(**5/8以降に接種を受けていない方は、未使用の接種券を使用してください。**)

予約・問い合わせは、TEL072-990-5820にお願いします。

当院メールマガジン「きくメール」に登録されている方は、メール予約が可能です。

昨シーズン、インフルエンザが3年ぶりに流行しました。当院ではこの8月にもインフルエンザの患者さんが出ました。新型コロナウイルスが、弱くなってきているということかもしれませんが、今シーズンの流行が始まる兆候かもしれません。

インフルエンザワクチンは、今シーズンも、A型H1N1・A型H3N2・B型ビクトリア系統・B型山形系統の4価ワクチンです。接種開始は10月からになりますが、詳細は次号までお待ちください。(きくメールでは、わかり次第お知らせします。)

右表は、私の新型コロナウイルスに対する抗体検査の結果です。6回目のワクチン接種は受けませんでした。やっと5回目の接種前の数値を下回りました。現在の変異株に効果があるのかわかりませんが、幸い8/27時点では、一度も感染していません。

5回目	抗体価
接種前	19853
1か月後	80000以上
4か月後	31578
7か月後	11453

発熱外来について

自覚症状は、発熱・のどの痛み・頭痛・咳・痰・鼻汁・鼻閉・吐き気・腹痛・下痢・全身倦怠感・関節痛・筋肉痛などさまざまです。発熱は37℃前後の微熱から39℃以上の高熱までありますが、現在流行中の新型コロナは、1日で解熱する方が多いです。

当院は「外来対応医療機関(B型)」で、対象は「かかりつけ患者さんのみ」です。新型コロナの検査は「抗原定性検査」を行います。高熱の場合は、インフルエンザの検査も行います(今年初めて8月にもインフルエンザ陽性の方が出ました)。

まずは、**電話でご相談ください**。他の患者さんへの感染拡大防止のため、ご協力をお願いします。予約なしで来院された場合には、出直していただくか院外で待機していただきます。発熱外来は、午前診終了後および夕診終了後に行いますので、ご協力をお願いします。

相談先は、**八尾市新型コロナ相談センター**(24時間)

TEL 072-994-0668 FAX 072-922-4965

大阪府コロナ府民相談センター(24時間)

TEL 06-7478-4567 FAX 06-6944-7579

【抗原定性検査】

ご自分で行っていただいても構いませんが、結果に一番影響するのは「時間」です。発病してから1日以内で検査した場合の「陰性」は当てになりません。もう1日経過してから検査をすると陽性になることが多いです。インフルエンザの検査も同様です。

【自宅療養】

発症日から5日間の「自宅療養」が推奨されていますが、5日たてば他人に感染させないかという、7~10日間をあぶないと考えてください。家庭や職場での感染がたいへん多いです。

【医療費】

抗ウイルス薬以外は、通常の保険診療になっています。

【抗ウイルス薬】

①MSDの「ラゲブリオ」、②ファイザーの「パキロビッド」、③塩野義の「ゾコーバ」の3種の内服薬があり、当院でも処方できます。

①②は、高齢者と重症化リスクのある方が対象で、重症化の予防が目的です。

③は高齢者以外の軽症の方にも処方できます。

①は特に制限なく処方できますが、②③は「併用禁忌薬」つまり「飲み合わせ」の制限が多いです。いずれも「説明文書」を読んで理解し、「承諾書」を書いていただく必要があります。

9月末までは、公費(無料)で処方できますが、10月以降は通常の保険扱いとなる予定です。①②は3割負担の方で約3万円、③は3割負担の方で約1万6千円の負担となります。

救急安心センターおおさか(コロナ以外のご相談はこちらへ)

#7119(または06-6582-7119)

年中無休24時間対応の救急医療相談窓口です。看護師・医師などが相談に応じます。

肺炎球菌の予防接種

日本人の死亡原因の第4位が肺炎です。高齢者では肺炎球菌が原因の多くを占めます。

2014年から定期接種となりました。対象は65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳です。

対象者は**2000円の自己負担**で受けることができますが、1回目の接種に限られます。

市民税非課税世帯の方、生活保護受給者等は負担金が免除されますが、接種前に八尾市保健センター(TEL 994-8480)での手続きが必要です。接種後に払い戻しはできません。

在庫がある場合には、当日の接種ができますが、できるだけ予約をお願いします。

ワクチンの効果は5年間です。八尾市の接種費用の助成は、1回限りですので、2回目以降は自費となり、接種料金は右表の通りですが、ぜひお受けください。

当初は1巡(5年間)の予定でしたが、延長されて、今年度が2巡目の最後の年です。来年度からは65歳の方だけが対象になる可能性がありますので、今年度対象の方はぜひお受けください。

※公害認定患者さんは、2回目以降も無料です。

※脾臓摘出後は、2回目以降も保険適用です。

情報は「[肺炎予防.jp](https://www.haien-yobou.jp/)」をご覧ください。(https://www.haien-yobou.jp/)

助成対象外の方の接種料金(税込)	
八尾市公害認定患者さん	無料
脾臓摘出後の方 (胃がん術後など)	保険適用
当院かかりつけ患者さん 当院での接種が2回目以降の方	6,700円
上記以外の方	7,700円

風しんの予防接種

風しんでこわいのは「先天性風しん症候群」です。妊婦が妊娠初期に風しんに感染した場合、新生児に先天性白内障、先天性心疾患、難聴などが起こる可能性が高くなります。男性で必要なワクチン接種を受けていない世代があり、下記の2つの事業が行われています。

A「風しん5期定期接種」

対象者は、**昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性**で、クーポン券があります。

B「先天性風しん症候群予防対策事業(八尾市)」

対象者は、八尾市に住民票のある方で、**①妊娠を希望している女性 ②①の配偶者**

③妊娠している女性の配偶者です。

(妊娠中の女性は、接種を受けられません)

無料の抗体検査を受けていただき、その結果で接種対象となれば、無料で接種可能です。

対象外の方の接種料金は、10,200円(税込)です。

参考までに右は私の抗体検査の結果です。

(ムンプス以外は、ワクチン接種済みです)

検査項目	測定値	単位	基準値
水痘帯状疱疹V I g G	14.6	E I A価	2.0未満
判定	(+)		
風疹 - I g G E I A	115.6	E I A価	2.0未満
判定	(+)		
ムンプス - I g G E I A	2.5	E I A価	2.0未満
判定	(+-)		
麻疹 - I g G E I A	18.3	E I A価	2.0未満
判定	(+)		

子宮頸がんの予防接種

子宮頸がんは「ワクチン接種で予防できるがん」です。ヒトパピローマウイルス（HPV）が日本人の子宮頸がん患者からは、16型と18型が約65%、31/33/45/52/58型を含めると約90%に検出されています。

定期接種の対象者は、小学6年生から高校1年生（相当）の女子で、接種料金は無料です。3種類のワクチンがありますが、今年度から定期接種に加わった9価ワクチンをお勧めします。

発癌のリスク	高リスク		低リスク
型	16・18	31・33・45・52・58	6・11
2価ワクチン	◎		
4価ワクチン	◎		◎
9価ワクチン	◎	◎	◎

9価ワクチンの接種回数は、3回または2回（15歳未満のみ）です。

3回接種：1回目接種 → 2か月あけて2回目接種 → 1回目から6か月あけて3回目接種
（1か月あければ2回目接種可）（2回目から3か月あければ接種可）

2回接種（15歳未満のみ）：1回目接種 → 6～12か月あけて2回目接種
（5か月あければ接種可）

帯状疱疹（ヘルペス）の予防接種

水痘（水ぼうそう）のウイルスが体内で冬眠していて、高齢など免疫機能が落ちたときにヘルペスを発症します。水疱が体の片側に出現します。典型的な帯状の方もあれば、局所的な場合もあります。水疱が出る数日前から、チクチク・ピリピリという神経痛が起こることが多いですが、水疱が出ないとヘルペスと診断できません。

ワクチン接種は、**発病予防および発病した場合の症状・後遺症（神経痛）の軽減が目的**です。
接種対象は**50歳以上**ですが、特別に免疫が低下している方には**18歳以上**で接種可能です。

当院では右表にある2種類のワクチン接種を行っています。

情報はそれぞれ下記のサイトをご覧ください。

「[帯状疱疹.jp](https://taijyouhoushin.jp/)」（ビケン）

<https://taijyouhoushin.jp/>

「[帯状疱疹予防.jp](https://taijyouhoushin-yobou.jp/)」（GSK）

商品名 (製薬会社)	水痘生ワクチン (ビケン)	シングリックス (グラクソスミスクライン)
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種方法・回数	皮下注射 1回	筋肉注射 2回 (2～6か月間隔)
予防効果	約50%	約90%
効果持続期間	約5年	約10年
接種料金 (税込)	かかりつけの方 7,200円 それ以外の方 8,200円	かかりつけの方 1回 19,800円 それ以外の方 1回 20,900円

<https://taijyouhoushin-yobou.jp/>

特定健診(予約制)

いわゆる「メタボ健診」です。「がん検診」ではありません。ご理解の上お受けください。40歳以上の方が対象です。八尾市国保加入者と後期高齢者は無料ですが、八尾市民以外の方や他の保険の方は、検査項目や費用が異なる場合がありますので、ご確認の上お受けください。受診には受診券が必要ですが、今年度中に75歳(後期高齢者)になる方は、誕生日の前日までと、以降では受診券が異なりますので、よくご確認ください。

お問い合わせは、八尾市健康保険課(TEL 072-924-3865)へお願いします。

健診の内容は、問診・身体計測(身長・体重・腹囲)・検尿・採血・心電図・診察です。血液検査の結果は当日は出ませんので、結果のための受診が必要です。

採血前に10時間以上の絶食が必要です。絶食でない場合、血糖値や中性脂肪が高く出る可能性がありますので、ご注意ください。カロリー0の水分は飲んでいただいて構いません。特に夏場は、脱水にならないように水分は十分摂ってください。

健診に含まれない検査(胸部X線写真・骨密度測定・超音波検査(腹部・甲状腺・頸動脈)・腫瘍マーカー・胃カメラ・大腸ファイバー)をご希望の方は、あらかじめお申し出ください。

40歳以上の大阪府の市町村国民健康保険に加入の方限定

初回 **特定健診** を受診して **¥3,000** 相当の **必ず** 電子マネー等を **プレゼント!**

※国保連合会と特定健診のデータ連携を行うことで受診されたかを確認します ※2回目以降の受診では1000円相当の電子マネーになります

大阪府提供の「アスマイル」というスマホのアプリがあります。大阪府の市町村国保加入者限定で、登録して特定健診を受診すると、初回3000円相当、2回目以降は1000円相当の電子マネーがもらえます。特定健診以外でもウォーキングや体重の記録などでポイントが付与され、抽選で特典交換ができます。アプリのダウンロードは、右のQRコードでできます。



肝炎ウイルス検診

B型・C型肝炎ウイルスの検査です。20歳以上の方が一度だけ受けることができます。肝炎ウイルスが、慢性肝炎、肝硬変、肝がん(肝細胞がん)の原因となりますので、ぜひお受けください。

集団予防接種が原因で、B型肝炎に感染した場合、国から給付金が支給される場合がありますので、法律事務所にご相談ください。また、定期的な検査が無料で受けられる制度もあります。

B型肝炎・C型肝炎の抗ウイルス薬による治療を受ける場合、月1万円(所得によっては2万円)で受けられる制度がありますので、ご相談ください。

大腸がん検診

40歳以上の八尾市民は無料です。受診券はありません。便を2日分提出していただき、1回でも血が混じっていると陽性で、要精密検査(大腸ファイバー)となります。ただし、肉眼でわかるような血便や、便通異常、体重減少などがある場合は、検診をとばして、内視鏡検査をお受けになる方がいいです。

日本200名城巡り(89)

【100名城】【続100名城】の計200名城巡りは、昨年5月に達成しましたが、200城にもれた城を引き続き巡っています。今回は登城済みですが、帰省のついでに松山城に行きました。今回で4回目だと思いますが、この城は何度行っても飽きません。

【100名城】松山城(愛媛県松山市)

山頂に登ると、(右上)左の小天守と右の大天守が並んでいちばんよく見える場所があります。

ここから戸無門、筒井門・隠門を抜けて、(右中)太鼓門があります。ここが本丸の正門にあたります。

山頂広場を抜け、少し登ると(左上)大天守が正面に見えます。左が小天守、右は一ノ門南櫓です。

ところが天守にはそう簡単には行けません。



突き当たりを右に曲がると一ノ門、左に曲がって二ノ門、左に180

度曲がって三ノ門、さらに右に曲がって筋鉄門と4つの門を抜けて天守広場にたどり着きます。

松山城の天守は、大天守から時計回りに、小天守、南隅櫓、北隅櫓の4つの建物が渡櫓でつながった連立式天守です。(姫路城・和歌山城などと同じです)

(左下)大天守最上階から、左が小天守、正面左が南隅櫓、右が北隅櫓です。遠くに瀬戸内海が見えます。

(右下)天守西側から見た、左が北隅櫓、右が南隅櫓。

高い石垣です。



松山城は、1602年に加藤嘉明が築きましたが、1784年に落雷で焼失し、1854年に再建されました。ギリギリ江戸時代に再建されているため、現存12天守のひとつとなっています。当初は40棟以上の建造物がありましたが、失火、放火、空襲などによって、現存建造物は21棟となり、国の重要文化財に指定されています。

9月の登城予定

【番外】川之江城(愛媛県四国中央市) 【番外】屋島城(香川県高松市)

【番外】胆沢城(岩手県奥州市) 【番外】志波城(同・盛岡市) 【番外】花巻城(同・花巻市)

インスタグラム [hiroshi_kikuchil](https://www.instagram.com/hiroshi_kikuchil)

キャッシュレス決済について

当院では、2001(平成13)年9月から、クレジットカードの取り扱いを始めました。その後、電子マネーやスマホ決済にも対応を拡げ、現在は下記のご利用が可能になっています。

【クレジットカード】



(左) リップルマークのついたカードはタッチ決済が可能です(暗証番号は不要)。(1万円を超える場合はサインか暗証番号が必要です)

リップルマークのついていないカードは、従来通りに暗証番号(またはサイン)が必要です。

【電子マネー】



タッチするだけです。ポイントのご利用はできません。チャージ(入金)はできませんので、ご了承ください。(設定済みのEdyのオートチャージのみ可能です)

残高照会は、Edy・nanaco・waon・交通系ICカード(PiTaPaを除く)が可能です。

【QRコード(スマホ)決済】

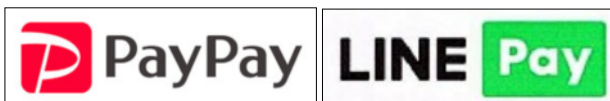


QRコードを読み取っていただきます。

(楽天ペイとauペイは、同じQRコードです)

楽天ペイでは、楽天ポイントが利用できます。(要設定)

auペイでは、Pontaポイントが利用できます。(要設定)



QRコードを読み取っていただきます。

(PayPayとLINE Payは、同じQRコードです)

完全予約制です (072) 990-5820

自動ドアを開ける時刻は、下記の通りです
 午前診：午前8時 夕診：午後4時45分
 (多少前後します) ご協力をお願いいたします。

毎月初回受診時には、健康保険証・医療証等をご提示ください。マイナンバーカード(マイナ保険証)も受付しています。
 お薬手帳・健診結果・紹介状などをお持ちの方は、診察前に受付へお出してください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝	
午前8時半～	胃カメラ・エコー						×	水曜日の午前診は、胃カメラ・エコー等の検査優先ですが、空きがある場合に限り一般の診察を行います。 午後の検査は、都合によって行わない日がありますので、ご了承ください。 夕診は予約の患者さんが終わり次第、終了としますので、ご了承ください。
午前9～12	診察					診察		
午前診終了後	発熱外来							
発熱外来終了後	胃カメラ・エコー 大腸ファイバー							
午後5～7	診察					診察		
夕診終了後	発熱外来		×			発熱外来		